

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	競技力向上対策支援事業		担当部署	教育委員会生涯学習人権課体育振興室	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市保健体育振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	3	心豊かで多彩な人材を含む鳴門づくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 不明 年度
政策(中項目)	2	自己実現都市 なる			
(小項目)		スポーツ・レクリエーション			
施策	3	学習スポーツの振興			
基本事業	2	スポーツ活動の推進		終期	未定 ▼

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市体育協会						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市体育協会を母体とし、競技人口の増大を推進するとともに指導者の育成・有能な選手の発掘及び競技力の向上等を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		全国大会等出場者数	172	180	180	180	180	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	新たにソフトバレーボール連盟とグラウンド・ゴルフ協会を体育協会加盟団体として迎え、競技人口の増加を図った。 また、市民体育祭等を開催することで、競技人口の拡大・競技力向上に取り組み、組織力の強化・指導者の育成・有能な選手の発掘育成を促進し、本市におけるスポーツ振興に努めた。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	体育協会加盟競技者数	8,762	9,058	9,050	9,050	9,050	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	全国大会等出場者数		172	151	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			83.9	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)		1,245	1,245	1,245	1,245	1,245	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		1,245	1,245	1,245	1,245	1,245	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,303	1,303	1,303	1,303	1,303	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		2,548	2,548	2,548	2,548	2,548	千円

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	鳴門市体育協会を母体とし、競技人口の増大を推進するとともに指導者の育成・有能な選手の発掘及び競技力の向上等を図っている。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄	
	8  /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 学習スポーツの振興 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
2.有効性の評価		理由等所見欄		
6  /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業対象は適切である。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
3.効率性の評価		理由等所見欄		
6  /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	競技人口を増やすためにも、競技団体への財政支援が必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <span style="font-size: 24px;">▼</span> <span style="font-size: 24px;">▼</span>			
	どのように改革するのか				

◎外部評価

評価結果 (委員)	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
評価結果 (市民評価員)	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
今後の改革の方向性	スポーツ施策全体の中での位置づけを再検討し、事業の目標や内容を明確化するとともに、助成制度のあり方について再度検討する必要がある。				